

# 日本赤十字九州国際看護大学図書館における 1年生対象 情報検索ガイダンスの課題

## －受講者アンケートによる分析－

多川 綾子, 白倉 理絵, 松本 英里, 伊東 泰子  
日本赤十字九州国際看護大学図書館

### 1. はじめに

日本赤十字九州国際看護大学図書館では、毎年、看護学部1年生の必修科目「基礎力総合ゼミナールⅠ」（以下、基礎ゼミⅠ）と連携し、演習を中心とした情報検索のガイダンスを行っている。

ガイダンス後には、学生へのアンケートを実施し、内容の見直しを行ってきたが、細かな分析にまでは至っていなかった。今回、過去5年間のアンケート結果（自由記述）から、学生が情報を検索する際、どのような点で困っているのか、ガイダンスで何が分かったのか、分からなかったのか等、問題点や課題を見つける。

### 2. 基礎ゼミⅠとガイダンスの内容

基礎ゼミⅠは、「大学生としての学修方法を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身につける」ことを目的としている。約100名の1年生を、10名程度のグループに分け、ゼミ別に授業がすすめられている。15回の授業時間中、2回目または3回目に合同学習の時間が設けられており、図書館はその時間（90分）に情報ガイダンスを実施してきた。

ガイダンスの内容は、DVD（レポートの作成）の視聴、OPAC、データベースを使った文献検索（演習形式）、出典の書き方の説明等である。

2018年以降、科目担当教員による授業内容の見直しが行われ、図書館では情報検索方法のみを指導してほしいとの要望があった。2019年からは時間も40分と短縮されたため、図書館ではガイダンスの内容と時間配分を再検討した。

### 3. 問題点、今後の課題

先述のように2018年以降は、ガイダンス内容の変更、時間の短縮、また、アンケート方法も変更したことにより、①2015～2017年、②2018～2019年と分けて分析する。

詳細は、研究大会当日に発表する。